

「地域社会」に新たな価値を提供し続ける企業へ

株主通信

第61期 上半期事業報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

証券コード:9956



創業60年目を迎えたバローグループ 中長期的な成長の実現へ「強さ」を再構築してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

バローグループの平成30年3月期第2四半期決算は、営業収益は23期連続増収で過去最高を更新したものの、各段階の利益は4期ぶりの減益となりました。当社グループの業績の状況及び各セグメントの業績は、10ページから12ページに記載のとおりであります。

中間期の配当金につきましては、前期より2円増配し、1株当たり21円といたします。また、期末配当金は1株当たり24円とし、年間配当金は5円増配の45円とする予定です。配当金につきましては、中長期的な事業展開に備えた設備投資の継続や、企業体質強化のための内部留保の充実に留意しつつ、株主様に対して安定的かつ継続的な利益還元を行ってまいります。

さて、中期3ヵ年経営計画の最終年度を迎えた当社グループは、スーパーマーケットの既存店強化やインフラの効率的活用を図る「構造改革の推進」、ドラッグストア及びホームセンター事業の業容拡大を目指す「成長ドライバー

の育成」、事業会社の成長とガバナンス強化を促す「組織基盤の強化」に取り組んでまいりました。

平成29年2月に導入を開始し、主要業態に展開を拡大したプリペイド式電子マネー「Lu Vit (ルビット) カード」は、会員数や利用率が計画を上回るペースで推移するなど、好調な滑り出しとなりました。一方、主要事業の収益改善の柱である「競争力あるフォーマットの確立」については、ドラッグストア及びホームセンター事業が堅調に進捗したのに対し、スーパーマーケット事業では店舗改装を進めたものの、収益構造を変えるまでには至らず、ドミナント・エリアを中心に競争の影響を受けるなど、進捗に遅れが見られています。

店舗数が多くなったスーパーマーケット事業では、従来の改装スピードでは効果を得られにくくなってきたことから、効率的な改善手法へ変更し、「カテゴリーキラー」への転換を進めてまいります。

当社グループは創業60年目を迎えました。これまで、規模を拡大しながら、質の転換を目指してきましたが、環境が大きく変化するなか、企業として、また店舗としての「強さ」を再構築する時期にきております。中期3ヵ年経営計画の遂行により見えてきた課題を修正しながら、中長期的な成長へ繋げてまいります。

株主の皆様には、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社バローホールディングス
代表取締役会長兼社長

田代正美



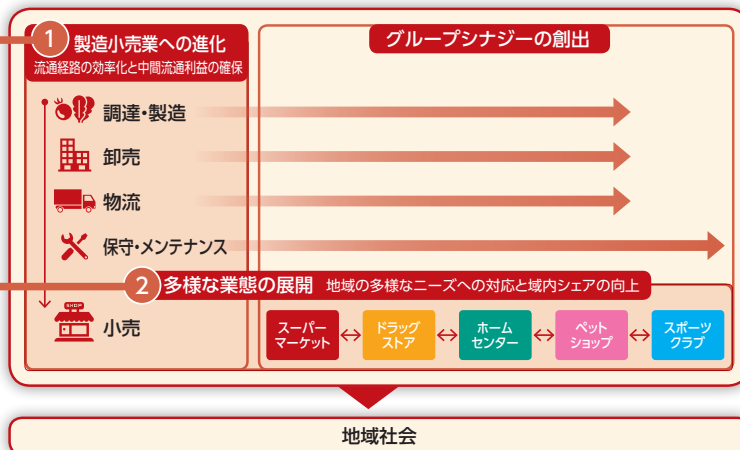
価値創造の源泉としての ビジネスモデル

パローグループは、将来起こりうる社会的課題を想定し、戦略を進化させてまいりました。そのなかで、価値創造の源泉と位置づけてきたのが、**1. 製造小売業への進化**、**2. 多様な業態の展開**です。

社会的課題



パローグループのビジネスモデル



パローグループの解決策



1 製造小売業への進化

製造から販売までの総付加価値が少なく、多数の中間業者が介在する食品流通業界において、当社グループは「収益逡増」型の成長を実現することを目指しています。調達・製造、卸売、物流等の周辺事業に自ら着手し、流通経路の効率化と中間流通利益の確保を図りながら、独自商品の開発・販売に注力しております。

2 多様な業態の展開

当社グループでは、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンター、スポーツクラブなど、多様な業態を展開しています。この展開に至った背景には、地域シェアの向上という目的だけではなく、地域が抱える様々なニーズに応え、暮らしの豊かさに貢献したいという創業時からの理念が影響しております。

岐阜県では、中部フーズ株式会社が店内製造・販売を担う惣菜売場や株式会社タチヤが運営する青果・精肉売場を設置しており、いずれも好調に推移しております。



▲ホームセンターパロー稲沢平和店



▲V・drug岐阜県庁西店

ドラッグストア ホームセンター

経営資源の組み合わせによる 業態の進化

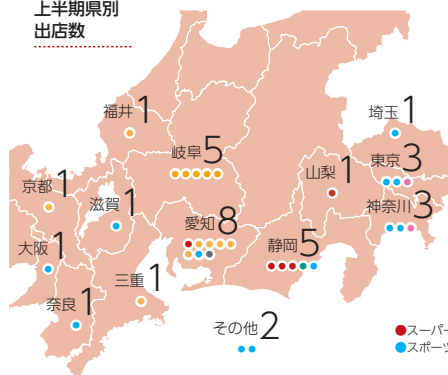
当社グループでは、経営資源を組み合わせ、変化するお客様のニーズを捉えた、従来の枠組みにとらわれない店舗開発に取り組んでおります。

平成29年4月、「ホームセンターパロー稲沢平和店」（愛知県稲沢市）において、循環型農業の一環として運営する野菜直売所を拡張し、お客様よりご要望の多かった精肉売場を設置いたしました。この展開は、スーパーマーケット事業で培われた仕入・オペレーションのノウハウを基盤としています。さらに、同9月に新設された「V・drug岐阜県庁西店」（岐阜

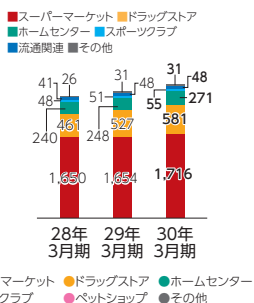
1 成長ドライバーの育成

当社グループは当第2四半期累計期間に34店舗を開設しました。ドラッグストア事業が高水準の出店を続け、愛知県・岐阜県を中心に13店舗を新設したほか、ホームセンター事業では、平成29年4月に静岡県への初出店を果たしました。また、スポーツクラブ事業が、低投資かつ月会費を抑えたフィットネスジム「Will_G (ウィルジー)」の出店を加速するとともに、フランチャイズ運営にも本格参入しております。

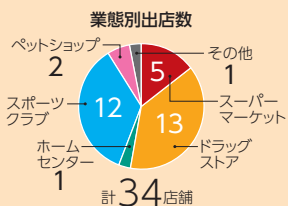
上半期県別出店数



上半期事業別営業収益額推移(億円)



●「Will_G」の出店を加速するスポーツクラブアクトス



上半期新規出店状況

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|---------------------------------|
| 4月1日 | ●SMVバロー碧南城山店(愛知) | 7月20日 | ●V-drug 伏見小栗橋店(京都) |
| 4月13日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gカリブ梅島(東京) | 7月21日 | ●SMVバロー国玉店(山梨) |
| 4月13日 | ●スポーツクラブアクトスWill_G近江八幡(滋賀) | 7月28日 | ●SMVバロー新富土店(静岡) |
| 4月13日 | ●ペットフォレスト+C町田金森店(東京) | 8月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gダイエー武蔵村山(東京) |
| 4月7日 | ●SMVバロー北寺島店(静岡) | 8月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gロピア綾瀬(神奈川) |
| 4月8日 | ●V-drug 敷島店(岐阜) | 8月3日 | ●V-drug 救賢清水店(福井) |
| 4月13日 | ●V-drug 岐阜太郎丸店(岐阜) | 8月3日 | ●V-drug 安城今池店(愛知) |
| 4月20日 | ●V-drug 扶桑店(愛知) | 8月31日 | ●V-drug 穂積本田店(岐阜) |
| 4月27日 | ●V-drug 又丸店(岐阜) | 8月31日 | ●V-drug 下重原店(愛知) |
| 4月27日 | ●HCバロー浜松浜北店(静岡) | 9月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gホームズ川崎大師(神奈川) |
| 4月28日 | ●SMVバロー湖西店(静岡) | 9月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gエコール・マミ(奈良) |
| 4月29日 | ●ペットフォレスト+Cセンター南店(神奈川) | 9月7日 | ●V-drug 岐阜県庁西店(岐阜) |
| 5月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_G富士厚原(静岡) | 9月21日 | ●V-drug 四日市松本店(三重) |
| 5月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gピエール加須(埼玉) | 9月29日 | ●デリカキッチン近鉄バッセ店(愛知) |
| 5月15日 | ●V-drug 天白植田薬局(愛知) | | |
| 6月2日 | ●スポーツクラブアクトスWill_G南十番町(愛知) | | |
| 6月2日 | ●スポーツクラブアクトスWill_Gフィッツマーケット垂水(兵庫) | | |
| 6月22日 | ●V-drug 清須東店(愛知) | | |
| 7月1日 | ●スポーツクラブアクトスWill_G和泉中央駅前(大阪) | | |
| | ●スポーツクラブアクトスWill_Gイオンタウン稲毛長沼(千葉) | | |

ドラッグストア・ホームセンターの業容拡大

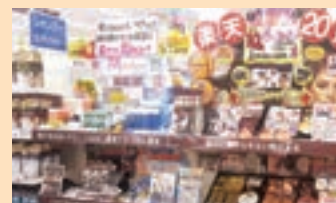
ドラッグストア

中部薬品株式会社では、前期から当期にかけて開設した店舗の寄与に加え、既存店売上高が前年同期比4.3%増加し、グループの成長を牽引しました。食品や調剤部門が好調に推移したほか、医薬品や化粧品品の販売にも堅調な動きが見られるなど、主要部門が伸張しております。

専門性の強化

売場訴求力の向上で販売に繋げる化粧品部門

化粧品部門においては、加齢や季節変化に伴うお悩み対策など、テーマ性のある商品選定を行ってきた「ANSWER (アンサー) 売場」を提案型から販売に繋がる売場へと進化させています。同売場から販売数量で全国第1位や中部地区第1位となった商品も誕生しました。



ホームセンター

株式会社ホームセンターバローでは、専門性の強化を図り、建築資材や農業資材等を拡充するとともに、「地域一番店」を目指し、自動車タイヤ交換やペットなど、「暮らし」を支えるカテゴリーを強化した結果、既存店売上高が前年同期比3.4%増加しました。

新規カテゴリーの育成

新店から広がりをもせたアウトドア・レジャー用品の展開

平成29年4月、「ホームセンターバロー浜松浜北店」(静岡県浜松市浜北区)の開設にあたって、周囲に全国有数のキャンプ場を有することから、アウトドア・レジャー用品を強化カテゴリーとして設定し、簡易なレジャー用品から中・上級者向けの有名ブランド商品までを幅広く揃えました。新店に取り入れた品揃え・展開方法を他店舗に移植しながら、同カテゴリーを育成しております。

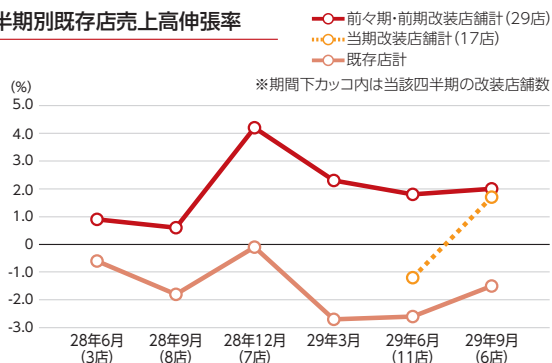


2 構造改革の推進

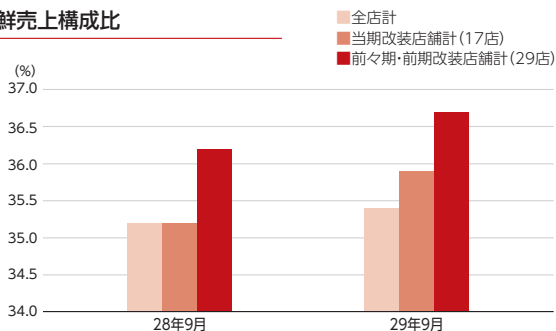
スーパーマーケット事業の既存店強化

スーパーマーケット（SM）バローでは、既存店の強化に向けて、生鮮強化の方針を踏襲しつつ、旗艦店としての役割を担い、地域最大シェアを獲得しうる条件が揃った店舗の挺入れと、その他の「標準化された店舗」の抜本的見直しに区分し、岐阜県・愛知県を中心に17店舗で改装を行いました。平成29年9月に改装した「SMバロー茜部南店」（岐阜県岐阜市）では、青果の強化、伸張する精肉部門の拡張、鮮魚の価値訴求への回帰を柱に、競争力あるフォーマットとして志向する「カテゴリーキラー」への転換を目指し、魅力あるカテゴリーを連続的に配置しました。一方、補完的役割を担ってきた店舗の特徴を際立たせ、ドミナント・エリアの再構築とシェア拡大を図るため、平成29年6月に改装した「SMバロー根本店」（岐阜県多治見市）では、鮮魚部門を圧縮し、青果・精肉売場を大幅に拡張しております。

SMバロー四半期別既存店売上高伸張率



SMバロー生鮮売上構成比



商品力向上への取り組み

惣菜の製造・販売を担う中部フーズ株式会社は、平成29年3月に開設した惣菜専門店「デリカキッチンK I T T E 名古屋店」（愛知県名古屋市中村区）に続き、同9月に「デリカキッチン近鉄パッセ店」（同）を開業いたしました。商品価値を高めるため、具材の追加や見栄えの改良を行うなど、美味しさの追求を続けております。



▲デリカキッチンK I T T E 名古屋店



▲彩りを意識したお弁当が充実

3 組織基盤の強化

労務コンプライアンスの徹底を図るとともに、「働きやすい会社」の実現を目指し、多様な働き方に対する支援施策として、平成29年7月、当社を含むグループ企業4社に勤務する社員（管理職を除く）を対象に、「勤務地選択制度」を導入いたしました。また、多様な人材の活躍を支援する一環として、同9月、当社可児事務所（岐阜県可児市）に企業内保育所「スマイルネストバロー広見保育園」を併設しております。



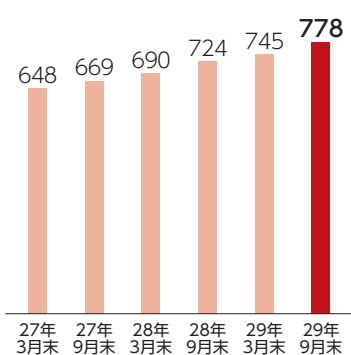
▲スマイルネストバロー広見保育園

業態別店舗数

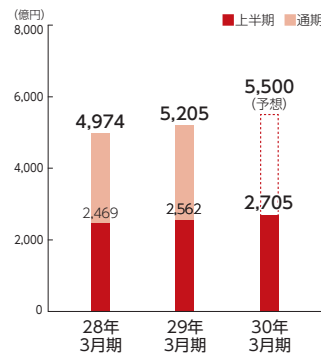


計 **778**店舗

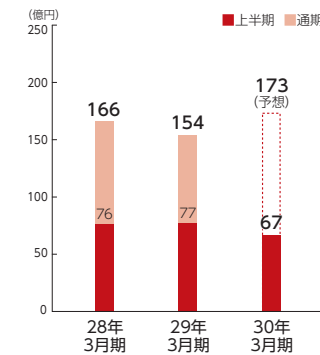
店舗数推移



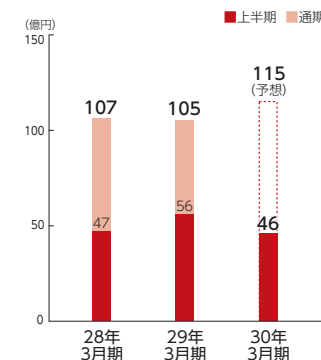
営業収益



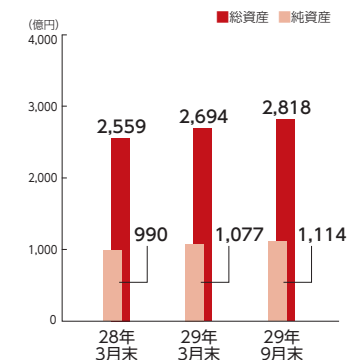
営業利益



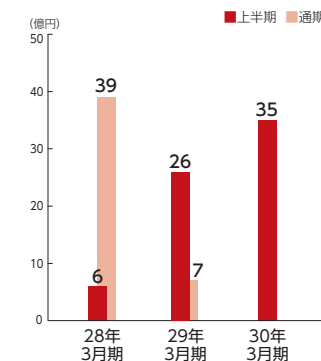
親会社株主に帰属する当期純利益



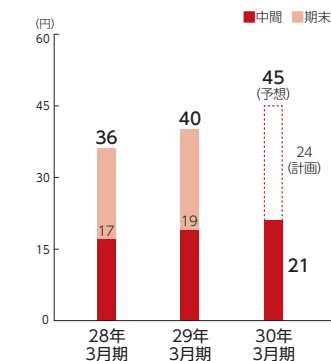
総資産／純資産



フリー・キャッシュ・フロー

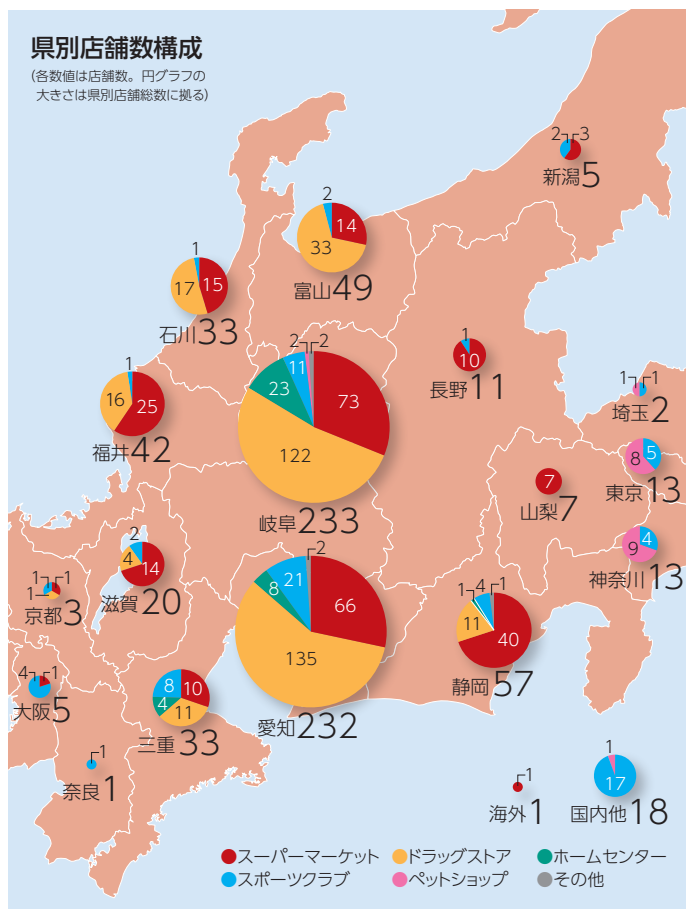


1株当たり配当金



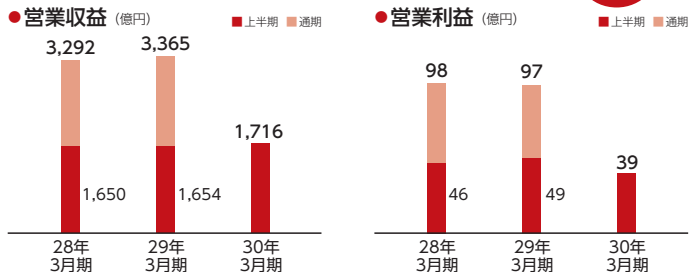
県別店舗数構成

(各数値は店舗数。円グラフの大きさは県別店舗総数に拠る)



スーパーマーケット(SM)事業

●営業収益割合 **63.4%**

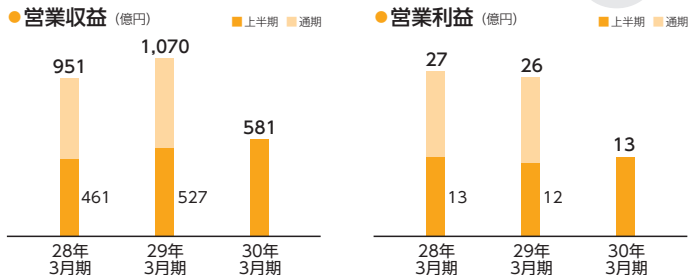


営業収益 **1,716億23百万円** 営業利益 **39億33百万円**

SM事業の営業収益は1,716億23百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は39億33百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。同事業においては、「フロント」にあたる店舗競争力の強化や商品力の向上に取り組みました。既存店の強化を課題とするSMパローは、生鮮強化の方針を踏襲しつつ、旗艦店としての役割を担い、地域最大シェアを獲得しうる条件が揃った店舗の掘入れと、その他店舗の抜本的見直しに区分し、17店舗で改装を行いました。インフラを活用した商品開発や店舗における商品育成にも取り組み、単品を集中的に販売する計画を遂行した結果、販売金額の伸張だけでなく、製造段階における利益改善にも繋がりました。店舗につきましては、平成29年4月に移転新設した「SMパロー北寺島店」（静岡県浜松市中区）を含む5店舗を開業し、当第2四半期末現在のSM店舗数はグループ合計280店舗となりました。前期に子会社化した株式会社公正屋の寄与や惣菜の製造・販売事業の伸張により、事業全体で増収となりました。インフラの効率改善は引き続き進展したものの、SMパローの既存店売上高が前年同四半期比で2.1%減少となり、増加した人件費や新店・改装費用等を吸収できず、事業全体で減益となりました。

ドラッグストア事業

●営業収益割合 **21.5%**

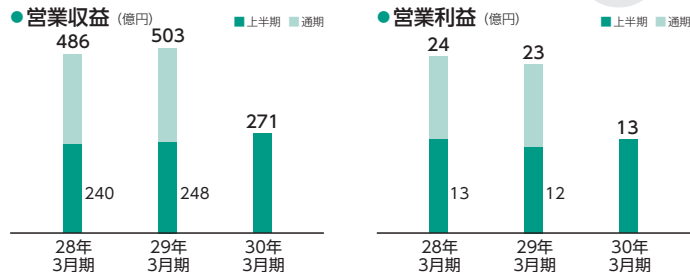


営業収益 **581億20百万円** 営業利益 **13億84百万円**

ドラッグストア事業の営業収益は581億20百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は13億84百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。店舗競争力の強化に向けて、15店舗で改装を行ったほか、愛知県・岐阜県を中心に13店舗を新設するなど、高水準の出店を続け、当第2四半期末現在の店舗数は350店舗となりました。同事業においては、食品や調剤部門が好調に推移したほか、医薬品や化粧品販売にも堅調な動きが見られ、中部薬品株式会社既存店売上高は前年同四半期比で4.3%増加しました。前期から当期にかけて開設した店舗も寄与したほか、主要部門の伸張が売上総利益率の改善に繋がれ、増収増益を確保いたしました。

ホームセンター(HC)事業

●営業収益割合 **10.0%**



営業収益 **271億78百万円** 営業利益 **13億79百万円**

HC事業の営業収益は271億78百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は13億79百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。同事業では、建築資材や農業資材等を拡充して専門性を追求するとともに、「地域一番店」を目指して、自動車タイヤ交換やペットなど、「暮らし」を支えるカテゴリーを強化しました。平成29年4月、静岡県初進出となる「HCパロー浜松浜北店」（静岡県浜松市浜北区）を開業し、当第2四半期末現在の店舗数は36店舗となりました。同事業においては、建築資材や農業資材・園芸に加え、タイヤ交換・ペット等の強化部門も好調に推移し、HCパローの既存店売上高は前年同四半期比で3.4%増加しました。前期から当期に開設した店舗も寄与したほか、主要部門の売上総利益率の改善も進み、増収増益となりました。

スポーツクラブ事業

●営業収益割合 **2.1%**

営業収益 **55億71百万円** 営業利益 **3億41百万円**

同事業につきましては、低投資かつ月会費を抑えたフィットネスジム「Will_G（ウィルジー）」を中心に会員数が増加したほか、スタッフがサポートするストレッチングなどの有料プログラムが伸張し、増収増益を確保しました。店舗につきましては、「アクトスWill_Gカリブ梅島」（東京都足立区）など計12店舗を新設（うちFC運営は1店舗）、1店舗を閉鎖したほか、既存1店舗をFC運営へ転換し、当第2四半期末現在の店舗数は86店舗（うちFC運営は4店舗）となりました。

流通関連事業

●営業収益割合 **1.8%**

営業収益 **48億44百万円** 営業利益 **20億39百万円**

流通事業に関連するその他のグループ企業では、経費削減や環境負荷低減に繋がる設備導入を進めるとともに、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラの改善やサービスレベルの維持向上に努めました。

その他の事業

その他の事業には、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理店等が含まれております。ペットショップ事業においては、ペットの美と健康をサポートする新たな業態として、平成29年4月に「ペットフォレスト+C（プラスシー）町田金森店」（東京都町田市）、「同センター南店」（神奈川県横浜市都筑区）を開業し、当第2四半期末現在の店舗数は21店舗となりました。

会社概要

会社名	株式会社パローホールディングス
設立	昭和33年7月 (平成27年10月1日付で「株式会社パロー」より商号変更)
事業内容	チェーンストア事業およびそれに関する事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理
所在地	本部：岐阜県多治見市大針町661番地の1
資本金	119億16百万円
グループ従業員数	社員：5,913名 パート・アルバイト等：16,833名 (8時間換算、期中平均)

役員

株式会社パローホールディングス

氏名	役職	その他重要な役職の兼務
田代 正美	代表取締役会長兼社長	
篠花 明	常務取締役	総務人事部長
志津 幸彦	取締役	財務経理部長兼情報システム部長
米山 智	取締役	(株式会社パロー 取締役事業統括本部長)
設楽 雅美	取締役	(株式会社パロー 取締役商品部長)
和賀登 盛作	取締役	(株式会社ホームセンターパロー 代表取締役社長)
山下 隆夫	取締役	店舗開発資産管理本部長兼資産管理部長
横山 悟	取締役	(株式会社アクトス 代表取締役社長)
森 克幸	取締役	(株式会社タチャ 代表取締役社長)
高巢 基彦	取締役	(中部薬品株式会社 常務取締役)
久保 香一郎	取締役	常勤監査等委員
増田 陸奥夫	社外取締役	監査等委員
秦 博文	社外取締役	監査等委員
伊藤 時光	社外取締役	監査等委員



株式数及び株主数

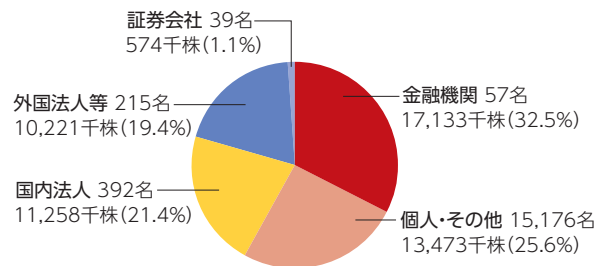
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	52,661,699株
株主数	15,879名

大株主

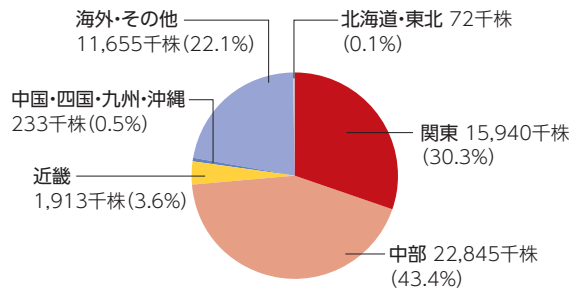
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
農林中央金庫	2,542	4.8
(株)十六銀行	2,536	4.8
公益財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,400	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,847	3.5
田代正美	1,571	2.9
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーツィー	1,554	2.9
伊藤友子	1,360	2.5
(株)子雲社	1,326	2.5
(株)三菱東京UFJ銀行	1,256	2.3
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,161	2.2

注：自己株式を除く

所有者別株式の分布状況



地域別株式の分布状況



株主優待制度変更のご案内

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、株主優待品を贈呈しております。これまで優待品は、バローグループ商品券または当社オリジナル商品の詰合せのいずれかを選択いただいておりますが、**平成30年3月31日現在**の株主名簿に記載された株主様より、当社が発行する**プリペイド式電子マネー「Lu Vit (ルビット) カード」**に保有株式数および継続保有期間に応じた下記金額をチャージした**「ギフトカード」**を贈呈することに変更しております。



「Lu Vit(ルビット)カード」

保有株式数	100株～499株	500株～999株	1,000株以上
1年未満保有	1,000円	1,500円	3,000円
1年以上保有	1,500円	3,000円	6,000円

- (注) 1. 保有株式数および継続保有期間による贈呈金額の基準についての変更はございません。
2. 本ギフトカードは、株式会社ジェーシービーのプリペイドスキームJCB PREMO (ジェーシービープレモ) を搭載しており、バローグループ主要店舗のほか、百貨店・家電量販店・コンビニエンスストア等、約30万店のJCB PREMO加盟店でご利用いただけます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://valorholdings.co.jp/ir/koukoku/

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座をお持ちでなかった株主様につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **バロー** ホールディングス

本部
岐阜県多治見市大針町661番地の1
TEL 0572-20-0860 (代表)
ホームページ
<http://valorholdings.co.jp>



この報告書は、森林認証を受けたFSC®認証紙、及び、植物油インキを使用しています。

